

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

岐阜県瑞浪市 瑞浪市駅北駐車場

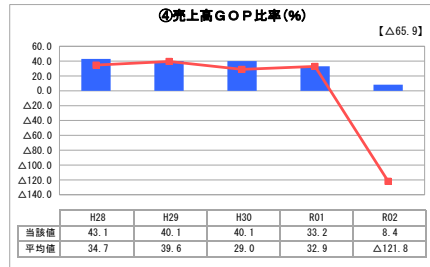
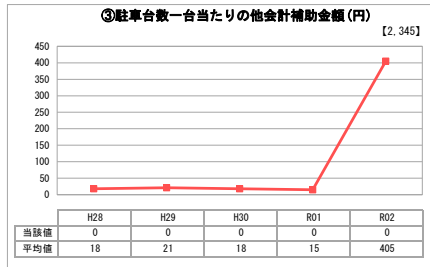
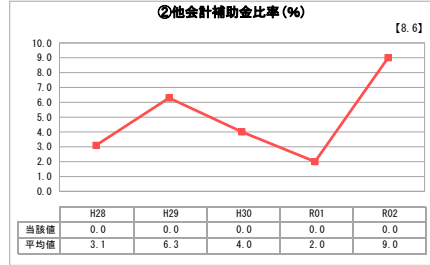
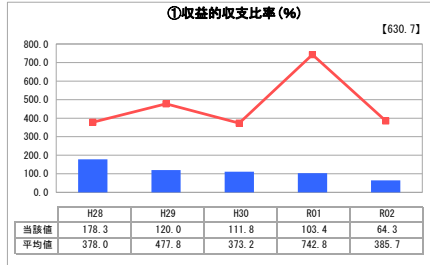
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	16	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	10,200
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
370	25	無

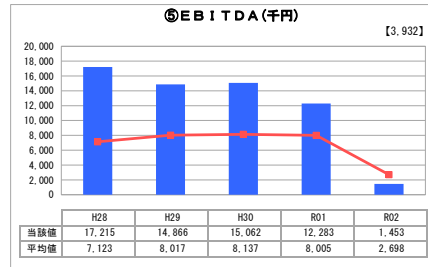
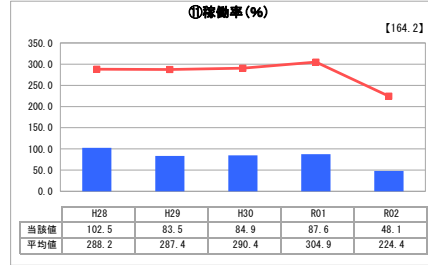
**グラフ凡例**

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

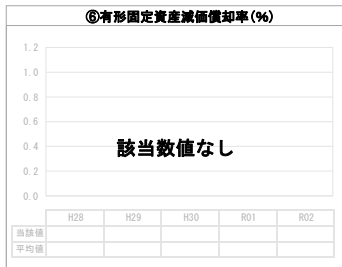
## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

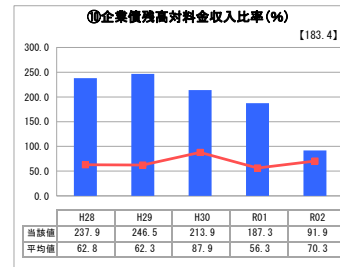
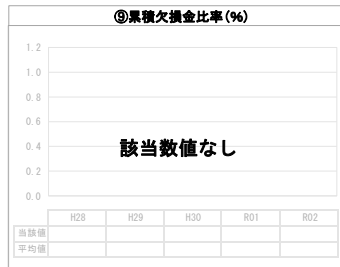


⑦敷地の地価(千円)

296,851

⑧設備投資見込額(千円)

24,500



## 分析欄

### 1. 収益等の状況について

令和2年3月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したため、『収益的収支比率』、『売上高GOP』並びに『EBITDA』は昨年度より数値が減少しています。  
新型コロナウイルス感染症収束の目途が立たず、収入の減少が続くと想定されることから、駐車場維持管理経費等の削減に努めます。

### 2. 資産等の状況について

瑞浪駅周辺にて再開発が検討されており、駐車場の再整備も検討課題となります。  
駐車場管理機器の整備にも費用がかかるため、駐車場の集約についても検討していく必要があります。

### 3. 利用の状況について

平成26年度に駐車場の料金改定を行い、2か所の市営駐車場の料金体系が統一されました。そのため、浪花駐車場の利用者が増加し、駅北駐車場の稼働率は減少しましたが、平成30年度から増加に転じています。  
しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響によるテレワーク等の普及から駐車場利用が減少しています。

### 全体総括

駅北駐車場は、平成27年度から平成29年度にかけて駐車場の拡張工事を行い、それに伴い、地方債の借入を行いました。令和9年度までは地方債の償還が発生するため、より効率的な運営を行う必要があります。  
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、使用料及び利用者が著しく減少しています。  
コロナ禍で収入が著しく減少しているため、経費の削減を図るなど、計画的かつ合理的な駐車場の運営に努めます。

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

岐阜県瑞浪市 瑞浪市浪花駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	広場式	38	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
公共施設	無	1,672
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
46	25	無

**グラフ凡例**

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 令和2年度全国平均

## 分析欄

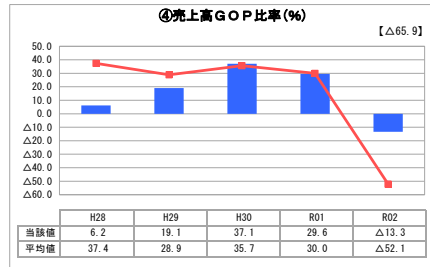
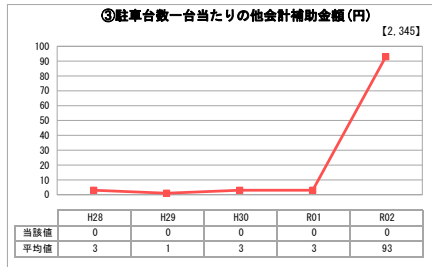
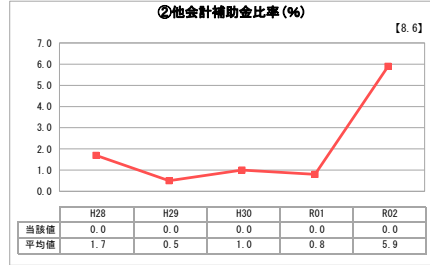
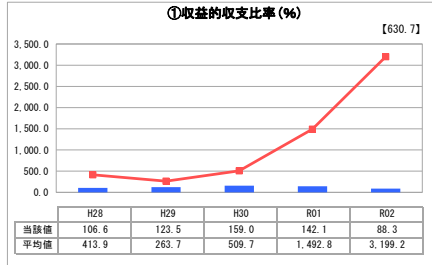
**1. 収益等の状況について**  
 令和2年3月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したため、『収益的収支比率』、『売上高GOP』並びに『EBITDA』は昨年度より数値が減少しています。  
 特に『売上高GOP』並びに『EBITDA』はマイナス値となっており、コロナ禍による収入の減少が続くと想定されることから、駐車場維持管理経費等の削減に努めます。

**2. 資産等の状況について**  
 駐車場管理設備等の再整備だけでなく、瑞浪駅周辺の再開発が検討される中で、市営駐車場の集約についても検討していく必要があります。

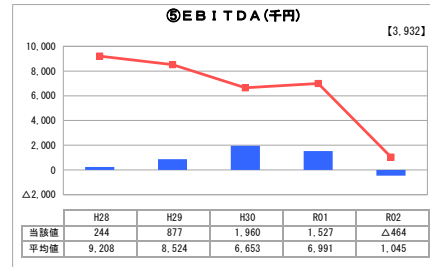
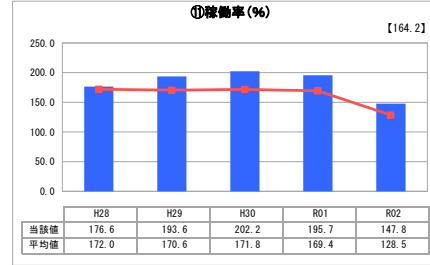
**3. 利用の状況について**  
 平成26年度の料金改定により、利用者がわかりやすく、利用しやすい料金体系となりました。  
 平成26年度の料金改定以降は、稼働率は改善しており、類似施設平均値を超える値となりました。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響によるテレワーク等の普及から前年度から駐車場利用が大きく減少しています。

**全体総括**  
 類似施設平均値と比較すると『稼働率』の水準が向上する一方で、『収益的収支比率』が著しく低くなっています。駐車場の維持管理に要する経費が依然として高い水準にあるため、更なる経費の抑制が必要です。  
 令和2年3月以降はコロナ禍で収入が減少しており、『売上高GOP』並びに『EBITDA』はマイナス値となっているため、経費の削減を図るなど、計画的かつ合理的な駐車場の運営に努めます。

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況



**⑦敷地の地価(千円)**

88,524

**⑧設備投資見込額(千円)**

9,500

